

スキマタイムズ

もっとお互いを理解するための場や時間を

日本自立生活センター自立支援事業所 2020年2月27日発行第107号

居場所づくり勉強会 第60弾

「当事者主体」をもう一度考えよう!

これまでJCILは、「当事者主体」をととても大事にしてきています。

私たちは、「障害者には、主体性がない」と、言われ続けてきています。だからこそ「当事者主体」を唱えることは意味があり、これからも大事なことです。そうしないと、私たち障害者は「主体性」がないものとみなされてしまう恐れがあるからです。

でも、日々の介助者との暮らしは「当事者主体」だけで回っているわけでもありません。また、知的障害・精神障害・難病・高齢化などにより「当事者主体」の意味合いがわからない感じも現状あります。それで「当事者主体」の意味合いや日々の暮らしの中・介助の中でのもやもやしていることについて、今一度みんなで考える時間をつくりたいです。「何が正しい」とかではなく、それぞれの考えを聞きながらみんなで考えていきたいと思えます。(担当:小泉)

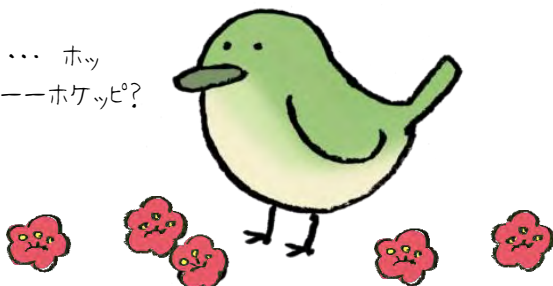
◆日時 2020年3月3日(火)14:30-16:30

◆場所 JCIL本体事務所(十条通り沿いの事務所)

こころとからだをすっきり! ヨガタイム

ヨガで自分の身体と向き合ってみませんか? ヨガの目的はきれいなポーズをとることではありません。その日の身体がどんなふう動くか動かないか、意識を自分に向ける時間です。呼吸が深くなり、肩こり、腰痛、疲労感もやわらぎます。もちろん腰痛予防にもいいですよ! ぜひ参加してみてください♪ 講師は石田久美さんです。

ホー … ホッ
ホーホケッピ?



★ヨガ: 全身をうごかすヨガ

日時: 3月23日(月)

17:00-18:15 (OPEN 16:45)

場所: 油小路事務所2F

持ち物: 動きやすい服装・タオル・飲み物

参加費: 無料

*このヨガクラスは、JCIL自立支援事業所の利用者と家族・介助者を対象にしています。

日本自立生活センター自立支援事業所 編集担当:岡山・春木

TEL: 075-682-7950 E-mail: jcil-kyoto@jcil.jp URL: <http://www.jcil.jp/zigyosho/index.html>

参加者の声

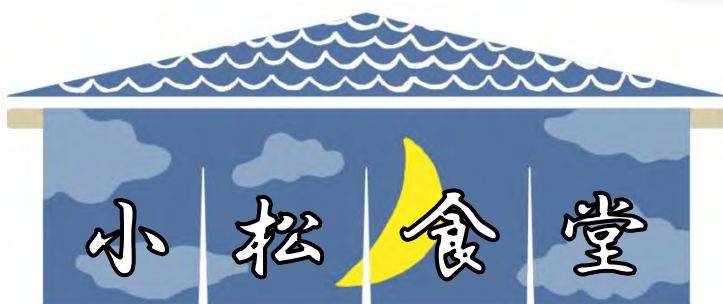
油田さんの若々しいリアリズムのある表現は障害当事者であるか否かよりも、コミュニケーションを重視する現代の潮流に根差しているように思う。ある意味大きな思想の流れにも影響され、また同時に影響を与えていくものなのだろう。

渡邊さんのコメントは10年くらい前からJCILの自由人で拝見していました。ずいぶんエッセンスが凝縮して、おそらく「人間関係の普遍性」にまで立ち至ることになりましたね。とても共感する部分と…う～む、言葉にならない部分とあります。

岡山さんお話、舞鶴で重度訪問介護制度利用者「0」とは！ビックリしました。そうとうな地域差があるんですね。蟻の一穴をどうやって空けるのか!?

障害女性、筋ジス病棟患者さんのお話、とても考えさせられました。「自由人」というタイトルにいつもとても惹かれてきました。やはり様々な障害を抱えながら生きている皆さんの生きざまにとてもクリエイティブな「自由」を感じるのです。ありがとうございます！

橋本成年



アンケートBOXを小松食堂の時に置いてあります。
リクエストお待ちしております！



三月の献立

五日(木)

お惣菜いろいろ

ご飯

汁物



二十三日(月)

野菜あんかけご飯

汁物



どなたでも参加できます。

場所は「松の間」

いずれも一七時から

参加費 三二〇円

新型コロナウイルスQ&A

令和2年2月22日時点版

心配な時には

Q1 風邪のような症状があり心配です。どうしたらいいですか？

A 発熱などの風邪の症状があるときは、学校や会社を休むなど、外出を控えてください。毎日体温を測定して記録しましょう。

Q3 最寄りの保健所等（帰国者・接触者相談センター）に相談するとどうなりますか？

A 電話での相談を踏まえて、感染の疑いがある場合には、必要に応じて、新型コロナウイルス感染症患者の診察ができる「帰国者・接触者外来」を確実に受診できるよう調整します。

予防について

Q4 新型コロナウイルスにはどうやって感染しますか？

A 現時点では、飛沫感染と接触感染の2つが考えられます。

- ① **感染者のくしゃみや咳、つばなどの飛沫による「飛沫感染」**
- ② **ウイルスに触れた手で口や鼻を触ることによる「接触感染」**

医療機関を受診するとき

Q6 医療機関を受診するときに気を付けることはありますか？

A 複数の医療機関を受診せず、「帰国者・接触者相談センター」等から紹介された医療機関（「帰国者・接触者外来」など）を受診してください。受診するときは、マスクを着用し、手洗いや咳エチケットを徹底してください。

Q2 感染したかも？と思ったらどうしたらいいですか？



A 以下の場合には、最寄りの保健所等にある「**帰国者・接触者相談センター**」に電話で相談しましょう。

- ① **風邪の症状や37.5度以上の熱が4日以上続く**
- ② **強いだるさや息苦しさがある**



- ・**重症化しやすい高齢者や基礎疾患がある方**に加えて、念のため**妊婦さん**は、こうした状態が**2日程度続いたら**相談しましょう。
- ・症状がこの基準に満たない場合には、かかりつけ医や近隣の医療機関にご相談ください。

Q5 感染予防のためにできることはなんですか？

A 以下のことを心がけましょう。

- ① **石鹸やアルコール消毒液などによる手洗い**
- ② **正しいマスクの着用を含む咳エチケット**
- ③ **高齢者や持病のある方は公共交通機関や人込みを避ける**

新型コロナウイルスについて

Q7 感染しても症状が出ない人がいますが、その人からも感染しますか？

A 現状では、はっきりしたことはわかっていません。通常、肺炎などを起こすウイルス感染症の場合、症状が最も強く現れる時期に、他者へウイルスをうつす可能性も最も高くなると言われています。

命の重さに差はありますか

～見つめ直そうこころの内側～

昨年、台風で中止になった学習会を、3月28日(土)に開催します。

「強制不妊手術」という言葉を聞いたことはありますか？ 優生保護法が存在した時代、子どもを産み育てる権利を認められず、強制的に不妊手術をされた人たちがいました。強制不妊手術の背後にあった優生思想は、今もなお、社会に影を潜めており、多くの人々を苦しめています。

本イベントでは、近年話題になっている「出生前診断」の問題もあわせて考えながら、命の「価値」とは何なのか、そして、誰もが自分の命や意思を尊重される社会とはどのようなものなのかについて、みんなで一緒に考えてみませんか。

【内容】

講演「強制不妊手術と新型出生前診断をめぐって」 利光恵子さん

対談「障害者の歴史を見つめて今伝えたい思い」 鈴木由美さん、利光恵子さん、村田恵子さん

- ◆鈴木由美さん 1955年9月22日生。脳性小児まひ。1997年より大阪市。生野区で一人暮らしを始める。その後結婚。現在は神戸市在住。24時間介助者を利用して生活。
- ◆利光恵子さん 優生手術に対する謝罪を求める会／立命館大学生存学研究所客員研究員
- ◆村田恵子さん 京都頸髄損傷者連絡会会長、DPI女性障害者ネットワークメンバー

【日時】2020年3月28日(土) 13:30～16:30 (13:00開場)

【場所】京都市 地域・多文化交流ネットワークサロン 大ホール

【参加費】無料

【定員】60名(申し込み要) ※手話通訳が必要な方は3/18(水)までに下記へご連絡ください。

【参加申し込み・お問い合わせ先】

障害者権利条約の批准と完全実施をめざす京都実行委員会女性部会(担当:香田・村田)

南区東九条松田町28 メゾングラース十条101 JCIL 気付

TEL: 075-671-8484 FAX: 075-671-8418 E-mail: jcil@cream.plala.or.jp

※現時点では開催の予定ですが、新型コロナウイルスの影響でやむを得ず中止となることも予想されます。引き続き情報チェックをよろしくお願いいたします。

震災救援募金のお知らせ

震災や災害は遠いところの出来事ではありません。ひとたび災害が起きると、障害者は食事、水道や電気などのライフラインの確保の困難はもちろん、障害のある人が避難出来る避難所不足や、避難生活、日常生活における介助者の確保、在宅医療体制の確保など、さらに多くの課題が山積して困難を極めます。

日本自立生活センターでは、阪神淡路大震災、東日本大震災などの救援活動で障害者に特化して大きな力を発揮した「ゆめ風基金」を通して、被災地の障害者の「いのちをつなぐ」支援を継続的に行っています。今回は自立障害者グループ「ペンギンの会」と連帯します。みなさんの、ご支援・ご協力よろしくお願いいたします！！

★ 日時：2020年3月15日(日) 場所：京都高島屋前(四条河原町)

★ 時間：14:00～17:00

※活動に賛同し参加して下さる方、一緒にやりましょう！

